

# 京都検定 よもやま話

第11回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。  
京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

## 京都に見る動物たち

新年になると、「今年の十二支は何か？」と意識する人は多いでしょう。今年は卯年のため、兔うさぎが神使として境内に鎮座する神社に注目が集まります。市内では東天王岡崎神社が代表例で、平安京遷都の際に東(卯の方角)に王城鎮護の目的で創建された歴史を持ち、周辺には野兔が多く生息していたことから多産な兔が神使に選ばれたようです。市外に目を転



東天王 岡崎神社のうさぎの像

じると、宇治神社や宇治上神社も兔うさぎが関わっています。両社のご祭神である菟うさぎ道稚郎子うさぎのみちわかひこが宇治を訪れた際に、兔が道案内をしたことから、宇治神社には愛らしい見返り兔が本殿の前に鎮座しています。また手水舎の兔は、口から水を出すユニークな形になっています。

来年は辰年ということもあり、龍めぐりが人気を呼ぶでしょう。禅宗寺院の法堂の天井には仏法を守護し、雨を呼ぶとされる龍が描かれています。このように動物を守護神として捉えると、京都の神社巡りをする上で一つのテーマとなりそうです。

また三方を山に囲まれ自然豊かな京都では、実際に多くの動物を見ることが出来ます。「嵐山モン



講師  
山村 純也  
株式会社らくたび  
代表取締役

キーパークいわたやま」では、身近に猿を見られることから特に外国人の観光客の方に人気を呼んでいますし、日本で2番目に古い歴史を持つ京都市動物園には多くの動物が飼育されている上、その年の干支にちなんだ「アニマル園長」を毎年選んでいます。また平成24年に梅小路公園内にオープンした京都水族館も、気軽に海洋生物を見学できるスポットとしてすっかり定着しました。その他、今や神社のシンボルとして親しまれているのが、田中神社のクジャクや大石神社のフアラベラ・ミニホースでしょうか。動物との出会いもまた、京都観光の楽しみの一つですね。

※京都・観光文化検定試験®、「京都検定」®  
およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。  
無断で使用することはできません。

## 第21回 京都・観光文化検定試験を 実施しました!

昨年12月11日に第21回京都検定を実施し、9歳から94歳までの老若男女計4860名の方に受験いただきました。過去の『京都検定よもやま話』でもご紹介した美術工芸品や茶室、また3級では京都の動物についてなど、多彩なテーマで出題しました。

